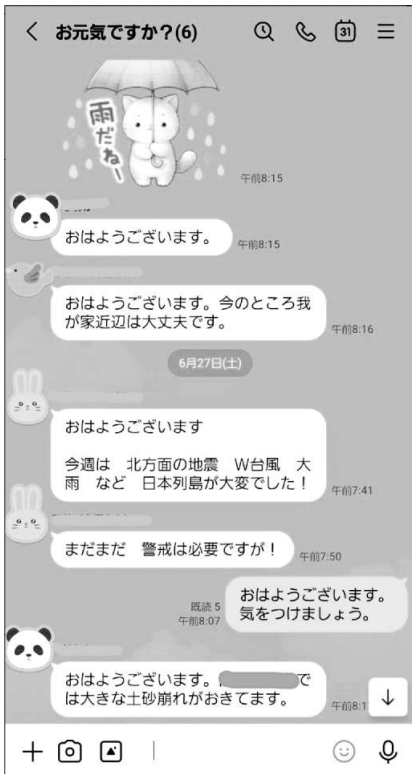


豊かな小組で 仲間を迎えませんか

安心して暮らすため
「お元気ですか？」小組

滋賀・志賀支部のどか班

支部では一人住まいの会員が多く、家の中で倒れたり、不安の声があがっており、「どうつながっていくか」と話し合っていました。LINEグループを活用して朝のメッセージ交換はどうか」と話し合ったことを班



大雨の朝、安否を確認し合うメッセージ

●メンバーはそのメッセージにリアクションで返信します。特にメッセージは不要。ただし、体調が悪い時や、何か知らせたい時は遠慮なくメッセージを入れます。個人的なやり取りはそれぞれ個人LINEを使ってね。

●2日続けてリアクションのないメンバーに、当番が個別連絡します。長期(2〜3日でも)返信しづらい時(外出、多忙、なんとなく...)は、遠慮なく「お休み宣言」してくださいね。

この間、「お元気で

小組初の原爆展で入会つきつき！

千葉・成田支部加良部班

班にはコーラストレミ、ピラティス、手作りなど6つの小組があり、楽しく過ごしています。5月の「コーラストレミ」小組では、体験会にプラスして高校生の原爆の絵を初めて展示することに。高



まずは発声練習とお口の体操から！
「コーラストレミ」小組

まずは発声練習とお口の体操から！「コーラストレミ」小組

楽しい小組と平和の運動かさねて 仲間を迎えよう

生活破壊と改憲・

熊本を襲った震度7の地震で、家屋の倒壊や道路の寸断など大きな被害が出ており、被害の実態把握と救援が急がれます。「避難所にエアコンがない」「食事はパンと水」「断水でトイレが使えない」など、猛暑のなか被災者の命が脅かされる事態です。

「東になって声を上げる大切さがあった」「安心して暮らせる世の中を新婦人と一緒に実現したい」と入会など、運動への共感が広がっています。

そして、日々の生活を豊かにと

ついています。全国で1万を超える小組は、会員の「やってみたい」「困った」をみんなで実現しています。小組の体験会に「高校生の描いた原爆の絵」を展示、「改憲NO」の19日行動でサルサ小組

がペンライトを持って踊りながら「平和を守れ」とアピールなど、小組活動と平和の運動を重ねた

とりくみも広がっています。まわりの女性たちに、会員のつながりに、チラシもつくって多彩な小組を知らせ、ゲストに誘ってこの夏は、すべての小組で新しく会員を迎えましょう。

5 「わからない」から始まる対話

んまり分からなかった。漫画は理解した」でした。

次の授業では、「人は変えられるのだろうか」をテーマに、家族も価値観の異なる他者であり、教育と支配の線引きについて話し合いました。冒頭の生徒は、「親が常識を教えることも大事。その線引きが難しい」と語りました。そして授業の最後、「自分は考えを変えられない人かもしれない」と口にしたのです。

考えそのものが変わったわけではありません。でも、自分には考えを変えにくいところがあると、自分が当たり前だと思ってきた価値観を見つめ始めています。その姿を見ていると、学びとは正しい



答えにたどり着くことだけではないのだと感じます。異なる経験を持つ仲間の言葉に出会い、自分の見方を少し離れて眺めてみる。そんな教室だからこそ、人は少しずつ学び直していけるのかもしれない。

〈月1回〉

学校とジェンダー の現在地



男性性研究／教育実践家
田中めぐみ

「監督はそこまで悪くないと思う」。父親が娘に暴力を振るった事件を扱った授業で、ある生徒が言いました。娘がA Iに相談し、児童相談所や警察が動いたことの方が問題ではないか。被害を受けた娘が書いた手紙を会見で読んで、なぜいけないのか、と。

私は、「父親と娘は本当に対等な関係だったのだろうか」と問い

返しましたが、あまり届いていないようでした。すると別の生徒が、「いや、そもそも暴力があかんやろ」と口を開きました。「親子は対等じゃない。自分も一度だけ、酔った親から同じようなことがあったけど、それだけでも怖かった」。同じ事件を見ても、一人は父親が責められることに引っかかり、もう一人は自分の身体に残る怖さから話していました。

その後、水谷緑さんの漫画『このころのナース夜野さん』のDV被害者の更生支援を描いた回(小学館、2021年)を読みました。家族のためだと思いながら妻を責め、支配する男性の姿に、「身に覚えがありすぎる」と話す生徒がいました。「自分も将来こうなりそうで怖い」と書いた生徒もいました。最初の生徒の感想は、「今日もあ